

日医発第 1912 号（地域）  
令和 6 年 1 月 26 日

都道府県医師会 担当理事 殿

公益社団法人日本医師会  
常任理事 細川 秀一  
(日本医師会災害対策本部 JMAT 本部長)  
(公印省略)

令和 6 年能登半島地震災害における「重装 JMAT」の更なる派遣のお願いについて

貴会におかれましては、令和 6 年能登半島地震への対応、また JMAT（日本医師会災害医療チーム）の編成・派遣にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

被災地のうち、輪島市、能登町、珠洲市については、今もって水道をはじめとしたインフラの復旧が難航しており、宿泊先の確保も困難な状態が続いております。

これまで、インフラの復旧が整っていない地域での活動に対応できる装備を持参しており、必要に応じて活動先の医療機関等での宿泊などにも対応できる JMAT（主に 2～3 日以上、自己完結による活動歴のある隊員が含まれる医療救護班で構成）を、「**重装 JMAT**」として位置づけて派遣をお願いしてきておりました。

能登北部地域でご自身も被災されながら、懸命に地域のために診療を続けている医療機関を支えるため、当面は「重装 JMAT」が重要であり、「重装 JMAT」に被災地支援の体制を築いていただくことで、交通事情や宿泊先確保等の状況が改善された時、標準的な JMAT を多数派遣することに繋がります。

つきましては、貴会におかれましては、**能登北部地域向けの「重装 JMAT」の更なる編成・派遣につきご検討をいただきますよう**何卒宜しくお願い致します。

- ・チームの申請にあたって JMAT 本部サイトよりお申し込みの際、チーム名の先頭に「重装」と記載いただくとともに、コメント欄に最初に宿泊される市町村名と宿泊先（代表者分）の記入をお願いいたします。
- ・適切に調整本部・支部において派遣調整ができるよう、「重装 JMAT」として派遣登録いただいたチームの装備状況について情報提供いただくフォームを作成しておりますので、ご入力を賜りますようお願い申し上げます。

【重装 JMAT 情報提供フォーム】 <https://forms.gle/uwEUg5jofNVYC6fG9>